

基本計画（案）に対する意見への対応状況一覧

意見概要	対応状況
1 生き活きとした愛顔あふれる「えひめ」づくり ～次代を担う活力ある産業を“創る”～	
<p>人づくりに、世界とか国際ということが入ってくる可能性があるのか気になった。外にどんどん出していくということも考えなければならないと思う。県としても高校生の派遣など御検討いただきたい。ライフステージに応じた子育て家庭の多様なニーズに対応した各種支援サービスの充実を図る必要があるため、施策をまとめて一本化するのが適当である。 【林委員長】</p>	<p>意見趣旨は施策15に盛り込み済 主な取組み3「国際化を支える人材の育成」に、「国際社会の一員として主体的に行動できる広い視野と判断力を養成...、本県の国際化と平和で豊かな国際社会の構築に貢献できる人づくりを進めます。」と記載。【経済労働部】</p>
活力ある産業づくり	
施策1 地域に根ざした産業の振興	
<p>地域に根ざした産業の振興と商店街、特に指標である「空き店舗率」との関連性が見えない。 【池田委員】</p>	<p>原案のとおり 地域に根ざした産業振興には、中心市街地・商店街の活性化は不可欠であるとの認識から記載するもの。（地域別懇談会においても、施策の充実を求める意見がある。）なお、「商店街における空き店舗率」は、商店街の停滞状況からの脱却度合いを定量的に把握する指標として多くの自治体等でも活用されている。 【経済労働部】</p>
<p>目標「県内企業や商店街がもっと力強く活動できるようにしたい」に対する指標「製造品出荷額等」と「県内商店街空き店舗率」の間には、直接の関連性がないのではないか。 【東淵委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 県内企業の活動成果を図れる指標として、「県内総生産額（農林水産業を除く）」、「従業員1人当たり付加価値額」、「商店街における空き店舗率」の3つを採用。 【経済労働部】</p>
<p>産業振興のためには企業力の向上が必要。取組みの方向の文章には「県内企業が力強く活動できるように、企業力の向上を含め企業の立場に立った総合的な支援体制を整え、...」と「企業力の向上を含め」を入れるとよいのでは。 【東淵委員】</p>	<p>意見のとおり修正 取組みの方向に「県内企業が力強く活動できるように、企業力の向上を含め、...」と記載。 なお、主な取組みとして「1 企業力向上の支援」を追加。 【経済労働部】</p>
施策2 企業誘致・留置の推進	
<p>目標の文章に留置に関する表現が入った方が良い。 【東淵委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 企業留置につながる活動支援を表すため、目標を「元気な企業をもっと呼び込むとともに、県内企業の事業活動を支援し、雇用の場を増やしたい」に修正。 【経済労働部】</p>
<p>製造業の誘致のみならず、これまでの状況を考えると、情報系など3次産業の企業誘致をさらに意識した方が良い。 【東淵委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 東・中・南予の地域特性に合致した取組みを進める主旨で、「...東予はものづくり産業、中予は情報通信関連産業、南予は食品関連産業など、地域特性に応じた業種をターゲットにした...」と具体的に記載。 【経済労働部】</p>
<p>主な取組み3の「フォローアップ」の意味が分かりにくい。 【東淵委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 記載内容を「...各種支援相談や県政に対する要望等にワンストップ相談窓口で対応することにより、県内企業の新たな事業展開を支援し、...」に修正。 【経済労働部】</p>

施策3 戦略的な海外展開の促進	
現状認識に基づき、海外への販路拡大としているが、企業は海外への進出は考えても、円高・現地生産拡大といったグローバルな潮流の中では、第一次産品を除き、輸出拡大は考えにくいのではないか。【池田委員】	原案のとおり 県内中小企業にとって、東アジア向けの輸出強化は大きな課題であることから、県が見本市や商談会等を通じて販路開拓支援や輸出促進を行う必要性が高いと考えているため。【経済労働部】
輸出額は、その太宗が船や住友金属の銅やニッケルであることや為替の影響が大きいことを考慮すると、妥当性に疑問がある。【池田委員】	意見を踏まえ修正 指標の「輸出額」を、「国際取引企業数」に改めるとともに、「県内港湾における貿易コンテナ取扱量」を追加。【経済労働部】
施策4 新産業の創出と産業構造の強化	
主な取組み4の「...情報の提供」を「...情報の提供とサポート」としてはどうか。【東淵委員】	意見のとおり修正 「...情報の提供とサポート」に修正。【経済労働部】
産業を担うづくり	
年配の方が再度学びたいという要望が多いので、づくりの中に、社会人の学び直しという項目がひとつ必要ではないか。【林委員長】	原案のとおり 再スタートや起業という意味で、雇用対策や産業振興の施策の中で取り組んでいるため。【経済労働部】
具体的な施策になると若年層が強調されている。40代50代の労働者や女性の労働力、特に子育て世代の労働力をいかに活用するかが課題であり、その視点での検討が必要。 経済という観点での障害者の雇用、活用が必要ではないか。【安河内委員】	原案のとおり 若年者にスポットを当てた表現にはなっているが、年齢や性別、障害の有無に関係なく、「働きたい人みんなが能力を発揮して、いきいきとした職業人生を歩めるようにしたい」というのが施策5の目指すべきところであり、若年者以外を軽視しているものではない。なお、施策5では、女性、障害者、非正規労働者等に対する職業訓練について記載している。【経済労働部】
「安定した雇用の場を確保するとともに」とあるが、これは、非正規雇用を想定した表現だと推測するが、有期か無期かという雇用の形態ではなくて、有期の雇用であっても労働条件が整い、本人が納得して次の夢に向かうことができれば問題はないので、「安定した」を「尊厳のある雇用」とした方が良いのではないか。【安河内委員】	原案のとおり 「安定した雇用の場を確保する」とは、雇用機会の安定的な供給を意図したものであり、雇用形態の安定について述べたものではないため。【経済労働部】
施策5 若年者等の就職支援と産業人材力の強化	
「働きたい人みんながもっと働けるようにしたい」とするのは、狭すぎるのではないか。【東淵委員】	意見を踏まえ修正 目標を「働きたい人みんなが能力を発揮して、いきいきとした職業人生を歩めるようにしたい」に修正。【経済労働部】
産業人材力の強化の視点で見れば、在職者の能力の向上や、中小企業経営者の経営力向上のための取組みも必要。特に、中小企業経営者の経営力の向上は、施策6の実効性を高めるためにも重要。【東淵委員】	原案のとおり 在職者の能力の向上については、施策5の主な取組み2の中で、「...ものづくり分野を中心とした高度技術者の育成を行うとともに、専門技術・技能の継承に努めます。…」と記載。 中小企業経営者の経営力の向上については、施策1の主な取組み3の中で、「...経営指導員の資質向上や後継者の人材育成など中小企業経営者の経営力向上を支援…」と記載。【経済労働部】

<p>「就職支援」と「産業人材力の強化」が繋がっていることは理解するが、この2つの内容を分けずに一項目にまとめている理由は。 【大内委員】</p>	<p>原案のとおり</p> <p>えひめ産業人材力強化戦略では、4つの職業人生ステージを5つの施策体系に整理して、進行管理することとしている。この戦略の中で、若年者の就職支援については、「つなげる」として、新規学卒者、若年求職者、若年就労者をターゲットとした施策体系としているが、これを含めた全体の施策を「産業人材力の強化戦略」として位置付け、1項目にまとめているもの。 【経済労働部】</p>
<p>「新規学卒者の就職内定率」とあるが、高校以外の大学等も必要。 【大内委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正</p> <p>指標を「県内高校・大学新規卒業者の就職決定率」に修正するとともに、「高等技術専門学校における就職率」を追加。 【経済労働部】</p>
<p>「えひめ子育て応援企業」のように「えひめ若者育成応援企業」のような認定制度があれば、指標になる。 【大内委員】</p>	<p>原案のとおり</p> <p>「えひめ若者育成応援企業」の認定制度が現になく、施策の成果を検証する上で、最終目標として設定する指標については、完全失業率及び就職決定率等に、施策の趣旨が反映されているため。 【経済労働部】</p>
<p>教育分野では「就業体験」「インターンシップ実施校」が指標になっているが、(主な取組内容によるが)「受け入れ企業数(協力企業数)」も指標になる。 【大内委員】</p>	<p>原案のとおり</p> <p>施策の成果を検証する上で、最終目標として設定する指標については、完全失業率及び就職決定率等に、施策の趣旨が反映されているため。 【経済労働部】</p>
<p>「職業訓練修了者数」は、修了した人の総数だけでは指標として不足。「進路決定者数」も入れてはどうか。 【大内委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正</p> <p>指標に「高等技術専門学校における就職率」を追加。 【経済労働部】</p>
<p>「産業人材力の強化」(又は「労働環境の整備」)の指標として、「職場定着率」はどうか。 【大内委員】</p>	<p>原案のとおり</p> <p>施策の成果を検証する上で、最終目標として設定する指標については、完全失業率及び就職決定率等に、施策の趣旨が反映されているため。</p> <p>また、職場の定着率は、事業所ごとの在職年数という形でしか把握できず、離職する理由が様々であり、アウトカム指標としては適当でないとする。 【経済労働部】</p>
<p>「新規学卒者や失業者等の就労意欲が適切な就職に繋がる雇用環境整備に努める」は、就労意欲のある新規学卒者や失業者等が適切に就職できる雇用環境整備に努めるという意味か。</p> <p>「さらに、雇用政策に関する国と地方の役割分担については更なる情報収集に努める」は、表現されている意味がよく分からない。 【大内委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正</p> <p>取組みの方向に「<u>…就労意欲のある新規学卒者や失業者等が適切に就職できる雇用環境整備に努めます。…さらに、雇用政策に関しては、国と地方の役割分担に基づき、連携しながら施策の効果的な運用に努めます。</u>」と記載。 【経済労働部】</p>

<p>主な取組み1「若年者の就職支援」の「求人と求職者の双方の条件とニーズを踏まえた支援」は、納得しやすい文章だが、「条件とニーズ」を踏まえていると、マッチングが進まないのが現実。これからは「企業と求職者のニーズそのものに変化を起こさなければならない」ことから、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年求職者の就職活動支援 ・企業における若年人材採用、育能力向上への支援 ・教育機関、家庭における若者の勤労意欲育成への支援が必要であるとする。【大内委員】 	<p>意見を踏まえ修正</p> <p>主な取組み1に「...若年者の「働く意欲と能力」の向上など人材育成に努めるとともに、企業の採用力向上を支援します。...若年者と人材を求める企業との出会い・交流の場を提供することにより、積極的にマッチングを促進します。」と記載。</p> <p>また、主な取組み2に「...地域企業のニーズを踏まえた専門的な知識や技術を習得するための実践的なカリキュラムを高等学校で作成するとともに、...」と記載。</p> <p style="text-align: right;">【経済労働部】</p>
<p style="text-align: center;">施策6 快適な労働環境の整備</p>	
<p>「使用者と労働者の間で生じた紛争の解決」を「使用者と労働者の間の問題に対する相談体制の強化と紛争の解決」にしてはどうか。また、「労働災害の防止強化」を追加してはどうか。(関係諸機関と連携を図る必要がある。)</p> <p style="text-align: right;">【桐木委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正</p> <p>主な取組み2に「...中小企業労働相談所において、労働関係全般に係る相談に応じるとともに、労働委員会において、労働組合と使用者との間に生じる労働争議の調整や相談・あっせん等を実施...」と記載。</p> <p>原案のとおり</p> <p>また、労働災害防止強化については、愛媛労働局が各関係機関の協力を得ながら主体的に取り組んでいるため。</p> <p style="text-align: right;">【経済労働部】</p>
<p>「働く人がもっと安心していきいきと働けるようにしたい」とあるが、これは何のことを話しているのかわからない。【安河内委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正</p> <p>目標を「働く人が生活と調和しながら働けるようにしたい」に修正。【経済労働部】</p>
<p>計画の中には、メンタルヘルスをしっかりと記載するとともに、ワークライフバランスの項目を設けて、しっかりと進めていくべきと考える。【安河内委員】</p>	<p>原案のとおり</p> <p>メンタルヘルス対策については、愛媛労働局が各関係機関の協力を得ながら主体的に取り組んでいるため。また、ワークライフバランスについては、施策6の大きな柱として、取組みの方向に記載しているため。【経済労働部】</p>
<p>労使紛争云々だけで、快適な労働環境の整備に本当に繋がるのか疑問。【安河内委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正</p> <p>主な取組み2に「...中小企業労働相談所において、労働関係全般に係る相談に応じるとともに、労働委員会において、労働組合と使用者との間に生じる労働争議の調整や相談・あっせん等を実施...」と記載。【経済労働部】</p>
<p style="text-align: center;">農林水産業の振興</p>	
<p>「良産地」は、「優良産地」の方が良いのでは。</p> <p>また、「一次産品」と言った場合、6次産業化で産み出された加工品が入らず、このままだと原料供給産地というイメージが強くなる。加工面での対応は、政策4で読むのかもしれないが、現状は、売り方だけに力点が入っているようなので、政策3又は4に「新しい県産品の開発」のような一言を入れたらどうか。</p> <p>文中「意欲あふれる若者たちに支えられた」を「意欲あふれる若者たちとこれを支える地域の人たちによる」としてはどうか。【大隈委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正</p> <p>「良産地」については意見のとおり「優良産地」に修正。</p> <p>「新しい県産品の開発」については、政策に「魅力ある様々な愛媛産品が生み出されるとともに、」を追記。</p> <p>「意欲あふれる若者たちに支えられた」については、若者以外も含まれるよう「若者を始めとする意欲あふれる多様な担い手に支えられた」に修正。【農林水産部】</p>

施策7 力強い農林水産業を支える担い手の確保	
目標を「農林水産業の人材力をもっと向上させたい」と表現すると、取り組みの方向性が十分カバーできないのではないか 【東澁委員】	意見を踏まえ修正 「農林水産業の担い手の力をもっと伸ばしたい」に修正。 【農林水産部】
「認定農業者数」を使うのはやむをえないが、現在その内容は高齢化等により弱体化している。「法人形態の農業経営数」を加えるなど、内容が強化されていることを示す何らかの指標を加えてはどうか。 【大隈委員】	原案のとおり 認定農業者数には法人形態のものも含まれており、「えひめ農業振興プラン 2011」との整合を考え、原案のとおりとする。 【農林水産部】
施策8 攻めの農林水産業を展開するための基盤整備	
「生産性の高い田畑や果樹園、漁場をもっと増やしたい」と表現すると、取り組みの方向性が十分カバーできないのではないか 【東澁委員】	意見を踏まえ修正 「豊かな田畑や樹園地、漁場をもっと増やしたい」に修正。 【農林水産部】
施策9 選ばれる産地を目指した技術開発の推進	
「もっとたくさんの人に信頼してもらえ」という表現は、違和感がある。第一に内容的に技術開発の話にそぐわないこと、第二に今まであまり信頼してもらえなかったのか、という印象を与えること。「多様な消費者ニーズに応え、安定供給のできる産地になりたい」等新品種・新技術開発を通して実現したい内容を書くべきではないか。 【大隈委員】	意見のとおり修正 「多様な消費者ニーズに応え、安定供給のできる産地になりたい」に修正。 【農林水産部】
愛媛ブランドの確立	
施策10 愛媛産品のブランド力向上と販路拡大	
主な取組みに「マーケティング支援」を入れてはどうか。 【東澁委員】	意見を踏まえ修正 主な取組み1～4の中で、マーケティング支援に係る趣旨を反映。 【経済労働部、農林水産部】
「まずターゲット顧客を絞り、それらが求める価値を明確化したうえで、高いレベルでそれを提供して行く」という成功するビジネスモデルの考えを使って行くことが望ましいと考える。 【東澁委員】	意見を踏まえ修正 主な取組み1～4の中で、消費者ニーズの掘り起こしや商品改良、ターゲットの絞込みなどの趣旨を反映。 【経済労働部、農林水産部】
観光立県えひめの推進	
施策12 魅力ある観光地づくり	
えひめ南予いやし博 2012 開催後の目標を掲げてはどうか。 【桐木委員】	意見を踏まえ修正 主な取組み3に「...「大・島博覧会」の開催を目指します。...各地のサイクリストを集めるイベントの実現を追求していきます。」と記載。 【経済労働部】
「まずターゲット顧客を絞り、それらが求める価値を明確化したうえで、高いレベルでそれを提供して行く」という成功するビジネスモデルの考えを使って行くことが望ましいと考える。 【東澁委員】	意見を踏まえ修正 取組みの方向に「...観光客のニーズに合わせた効果的な観光宣伝を行うなど、その魅力を強力に発信し、誘客促進に努めます。...」と記載。 【経済労働部】
良好な景色や景観の保存や創出が観光立県や生活重視の地域社会の実現などに大きな影響を及ぼす(リンクしている)ことを記載してはどうか。 【千代田委員】	原案のとおり 観光立県に関しては、施策12の取組の方向に、「観光資源の魅力を発掘し、磨き上げ」との表現で総括している。 【経済労働部】

施策 13 国際観光の振興	
「まずターゲット顧客を絞り、それらが求める価値を明確化したうえで、高いレベルでそれを提供して行く」という成功するビジネスモデルの考えを使って行くことが望ましいと考える。【東淵委員】	原案のとおり 主な取組み 1 に「...近隣県等との連携を図りながら資源をつなぎ合わせ、観光ニーズに合った魅力ある観光ルートの開発を促進します。」と記載。【経済労働部】
2 やすらぎの愛顔あふれる「えひめ」づくり ~快適で安全・安心の暮らしを“紡ぐ”~	
参画と協働による地域社会づくり	
施策 18 未来につなぐ協働のきずなづくり	
<p>NPO法の改正で、ここ2、3年の間にNPO法人数が約半分になる可能性がある。しかし、これは、本当に活動している法人が残り、県民の満足度を上げることになると思うが、これを数だけでやってしまうと、マイナスという結果しか出ない。満足度を取り入れた形の指標を検討すべきではないか。</p> <p>「指標」について、まつやまNPOサポートセンターが実施している「NPO事業資金調達実践道場」を受講している前向きなNPOと講師(企業コンサルタント)と共有(NPO活動は、その成果を数値化しにくい分野であり、共通の課題と考えたため)したところ、講師から、「満足度を数値化することは難しいことではない」とアドバイスを受けた。</p> <p>講師は現在「NPOの社会貢献度指標」について文書化している。(NPOのコンサルタントは全国的にも珍しく、手法をマニュアル化している。)</p> <p>今回の「長期計画」の指標についても参考になるかと思うがどうか。【小池委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正</p> <p>今回のNPO法の改正は、これまで僅かしか利用されていなかった認定制度をより使いやすいものとなるよう見直すとともに、認証制度についても使いやすさと信頼性向上のための見直しが行われたものであり、法人数が減少するような内容の制度改正ではない。なお、委員の意見を踏まえ、来年4月から県が所轄庁となる認定NPO法人数を指標に加えることにより、市民から支援を受けているかどうかの判断基準(PST)となる寄附額・寄附者数や法人の透明性確保が図られている法人数を把握。【県民環境部】</p> <p>同講座の講師にお話を伺ったところ、具体的事例を用いて100の状態を想定して、現状の数値を算出し、毎年少しずつでも100の状態に近づけていくことによって数値による社会貢献度(満足度)の測定が可能とのことであり、個別法人のミッションに対しては、非常に有効な手段であるが、県としては、様々な社会貢献に取り組んでいるNPO法人が各地域で増加していくことが、よりよい地域社会に資するものと考え、認定NPO法人数を指標として設定。</p> <p>なお、計画全体における指標の設定にあたっては、アウトカム指標を優先しつつ、目標との乖離が少ないことや、わかりやすさを考慮しながら選定。【企画振興部】</p>
施策 19 男女共同参画社会づくり	
「審議会等における女性委員の比率」というのは、非常に分かりやすいが、「企業の中の女性職員の比率」などがあっても良いのではないか。【松井委員】	原案のとおり 総務省「就業構造基本調査」(5年ごと)によると、本県の雇用者総数に占める女性の割合は、平成14年43.4%、平成19年44.4%と増加傾向にあるが、景気低迷等による非正規雇用者の増加等が背景にあり、男女共同参画の進捗を示す代表的な指標とは言えないため、県男女共同参画計画で用いられている代表的な指標を中心に設定。 【県民環境部】
支え合う福祉社会づくり	
施策 21 高齢者がいきいきと暮らせる健康長寿えひめの実現	
暴力根絶に向けて、DVや児童虐待については、触れているが、いじめ、高齢者虐待も追加してはどうか。 【桐木委員】	意見趣旨は主な取組み2に盛り込み済 「地域で共に生き、支え合う社会づくり」に、「...災害時の要援護者支援や高齢者の虐待防止にも効果的に機能する地域社会づくりに向けた取組みを支援...」と記載。 【保健福祉部】

施策22 障害者が安心して暮らせる共生社会づくり	
暴力根絶に向けて、DVや児童虐待については、触れているが、いじめ、高齢者虐待も追加してはどうか。 【桐木委員】	意見を踏まえ修正 取組みの方向に「...障害者の虐待防止を始めとする権利擁護の体制整備に努める...」と記載するとともに、主な取組み1「障害者が自立できる地域社会づくり」に「...障害者虐待防止対策を講じる...」と記載。 【保健福祉部】
障害者の表記を「障がい者」とする場合も増えているが、どうか。 【桐木委員】	原案のとおり 障害者への差別、偏見を助長しかねないとして、複数の案が出されている「障害」の表記については、現在、国において検討が進められており、制度改革の中で一定の結論を得ることを目指している状況である。このため、本県においても、国の議論の動向を注視しているところであり、混乱を避けることから、当面、現状の「障害」を用いることとしている。 【保健福祉部】
施策23 地域福祉を支える環境づくり	
「2 質の高い地域福祉を担う人材の育成と定着化の推進」には、教育機関等との連携が必要不可欠なので、その趣旨を記載してはどうか。 【桐木委員】	意見を踏まえ修正 教育機関も含め、多様な連携による研修事業を展開するため、主な取組み2「質の高い福祉サービスの提供」に「...市町や関係機関等と連携した専門性を高めるきめ細かな研修事業を実施するなど...」と記載。 【保健福祉部】
健康づくりと医療体制の充実	
他の施策は、その対象の前に具体的なイメージ(形容するもの)がつけられているが、この施策だけ「健康」がそのまま使われているので、「 の健康づくり」「 な健康づくり」としてはどうか。 【日野委員】	原案のとおり 健康づくりは県民自ら主体的に取り組むことが基本であり、「自発的な健康づくりとすることも考えられるが、具体的な内容は施策24「生涯を通じた心と体の健康づくり」に記載していることから、本政策名においては、具体の形容句をつける必要性はないと考える。(目指す方向の中に「自発的な健康づくり」と記載。) 【保健福祉部】
健やかな暮らしを実現するための「健康づくり」を、時間、空間、仲間などの多様な視点から捉えていく必要がある。例えば、健康づくりのために安心して運動したり、遊べる環境(公園や広場など)の整備や、心のよりどころとなるコミュニティの形成なども、健康づくりには重要。 【日野委員】	原案のとおり この政策においては、「健康」の概念を一般的な保健医療分野における健康づくりに絞り込み、県として注力する取組みの方向性等を示すこととしているため。(なお、基本計画全体としては、健康づくりにかかわらず、様々な県民ニーズに対して、54施策を相互に関連させながら、愛顔づくりに向けた取組みを推進することとしている。) 【保健福祉部】
施策24 生涯を通じた心と体の健康づくり	
「もっと自分らしくいきいきと暮らせるようにしたい」は、21の施策名が「いきいきと暮らせる」となっているので、異なる表現にしてはどうか。 【日野委員】	原案のとおり 「伸びやかに暮らす」「はつらつと暮らす」などの表現も考えられるが、オーソライズされたものではなく、県民健康づくり計画でも使用されている「いきいきと暮らせる」の方が適当であるため。 【保健福祉部】

<p>「いきいきとした暮らし」の実現度(成果)を「がん検診受診者数」「自殺者数」のみで測ることに少し抵抗がある。【日野委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 生活習慣病対策により減少可能であり、県の施策効果を客観的に判断できる「65歳未満で死亡する人の割合」を指標に追加。 また、難病患者の生活課以前につながる支援状況を示す「難病患者(130疾患)のうち相談等の支援を受けている割合」も指標に追加。【保健福祉部】</p>
<p>取組みの方向は「がん検診」「心の健康(自殺)」を中心としているが、課題の2つ目の「生活習慣」の改善による健康づくりが最重要なのではないか。【日野委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 取組みの方向に「...生涯を通じた生活習慣病等の疾病予防の取組みを強化します。」に修正。【保健福祉部】</p>
<p>それぞれの年代に対応した(ライフステージに対応した)健康づくりを加えても良いのではないか。 【日野委員】</p>	<p>原案のとおり 各項目において、ライフステージに対応した取組みがなされるものであり、「ライフステージに対応した健康づくり」を別項目で取り上げる必要性はないため。 【保健福祉部】</p>
<p>施策25 安全・安心で質の高い医療提供体制の充実</p>	
<p>「愛媛大学等と連携して」は、「関係機関と連携して」に修正してはどうか。【窪田委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 「愛媛大学や関係機関等と連携して」に修正。 【保健福祉部】</p>
<p>主な取組み4の「県立病院を核とした」の前に「医師不足地区における」を追加してはどうか。【窪田委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 「...地域に不足する衣料の補完や医療レベルの確保を図るなど...」と追記。【保健福祉部】</p>
<p>安全・安心な暮らしづくり</p>	
<p>施策33 原子力発電所の安全・防災対策の強化</p>	
<p>安全対策の強化に、「原子力施設の見学会や講演会等～の普及啓発」とあるが、安全対策等の「等」に含まれる事業なのか。誤解を招きやすいのではないか。【桐木委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 主な取組み名を2「原子力発電所の安全対策の強化及び県民への正しい知識の普及啓発」に修正。【県民環境部】</p>
<p>3 輝く愛顔あふれる「えひめ」づくり ～未来を拓く豊かで多様な『人財』を“育む”～</p>	
<p>地域で取り組む子育て・子育て支援</p>	
<p>施策36 安心して産み育てることができる環境づくり</p>	
<p>乳幼児期の子育て支援に関しては満足度が低い。その理由は量ではなくて質の問題によるところが大きい。よって、乳幼児期の子育て支援について、もう少し具体的な取組みが出てくるのが望ましい。【伊東委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 基本計画の主な取組みにおいて、子育ての負担感の緩和を図り、安心して子育てができるよう「地域住民みんなで子育てをサポートする運動の推進」、「子どもたちが関わり合い、育ちあう場や、親同士や地域住民との交流を深める場として活用できる子育て支援拠点の設置促進」、「子育てに関する様々な情報提供」、「子育て家庭の多様なニーズに応じた保育サービスの拡充」に努めることとしており、乳幼児期の子育て支援に対応したものとなっている。(なお、乳幼児医療については、乳幼児医療費助成や乳幼児健診等が考えられるが、いずれも市町村の事業であり、県の計画に記載するのは不適切)【保健福祉部】</p>

<p>また、1施策の中に全部まとめられているのはどうか。 【伊東委員】</p>	<p>原案のとおり ライフステージに応じた子育て家庭の多様なニーズに対応した各種支援サービスの充実を図る必要があるため、施策をまとめて一本化するのが適当である。 【保健福祉部】</p>
<p>未来を拓く子どもたちの育成</p>	
<p>施策39 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進</p>	
<p>目標はもっとシンプルにした方が良い。 【日野委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 「子どもたちがたくましく生きる力を備えた人間へと成長できるようにしたい」に修正。 【教育委員会】</p>
<p>「子どもたちがもっとたくましく自立した人間へと…」にしてはどうか。 【堺委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 「子どもたちがたくましく生きる力を備えた人間へと成長できるようにしたい」に修正。 【教育委員会】</p>
<p>施策名にある確かな学力を測る指標として「学力・学習状況調査等」を加えてみてはどうか。なお、県教育委員会の義務教育課、特別支援教育課、保健体育課で生きる力(確かな学力、豊かな心、健やかな体)に関連するデータを持っているので、それらを参考にすべきではないか。 【日野委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 全国学力・学習状況調査において把握する「児童生徒の授業の理解度」を指標として追加。 【教育委員会】</p>
<p>教育分野では「就業体験」「インターンシップ実施校」が指標になっているが、(主な取組内容によるが)「受け入れ企業数(協力企業数)」も指標になる。 【大内委員】</p>	<p>原案のとおり へき地の学校にとっては、受け入れ企業が限られていることに加え、施策の趣旨がキャリア教育の推進による社会人としての自立するための必要な意識・能力の養成であり、協力企業数の多寡は指標として適当でないため。 【教育委員会】</p>
<p>主な取組み4「体力づくりの推進と健康的な生活習慣の確立」の具体的な事業である「体育専科教員の配置を通じた体育の授業力向上」や、「インターネットを通じて子どもたちが運動習慣を身につけ切磋琢磨する取組みの推進」などは、県民が理解できるのか気になる。 【日野委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 「学校の教育活動等の中で子どもたちの体力・運動能力の向上が図られるよう、小学校にも体育を専門に担当する教員を配置し、公開授業等を通じて体育の授業改善を図るとともに、体育の授業以外にも運動する機会を作るため、県内の全小学校が参加して、楽しみながら継続的に運動に取り組むホームページ上で運動の記録を競い合うことができる「えひめ子どもスポーツITスタジアム」を開催し、子どもたちの体力の向上とスポーツへの参加意識の高揚を図ります。」に修正。 【教育委員会】</p>
<p>施策41 教職員の資質・能力の向上</p>	
<p>「子どもたちがもっと学習内容が理解できる授業を展開できるようにしたい。」にしてはどうか。 【堺委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 「子どもたちにとってもっと楽しくよく分かる授業ができるようにしたい」に修正。 【教育委員会】</p>
<p>「子どもたちにもっとわかりやすい授業ができるようにしたい」にしたほうがいいのでは。 【日野委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 「子どもたちにとってもっと楽しくよく分かる授業ができるようにしたい」に修正。 【教育委員会】</p>

<p>指標の一つが、「教職員研修に対する満足度」だが、研修内容に対する評価なので、資質や能力の向上に対する成果とは異なる。 【日野委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 「研修を受講した教員による授業への活用度」に修正。 【教育委員会】</p>
<p>分かりやすい授業をするために教職員がどれくらい自己研鑽に励んだか(研修活動への参加率)などの方が良いのではないか。 【日野委員】</p>	<p>原案のとおり 自己研鑽については、その捉え方・範囲が曖昧であることに加え、校内研修であれば全員参加が基本であるため、指標として適当でない。 【教育委員会】</p>
<p>生涯学習と文化の振興</p>	
<p>施策 42 学び合い高め合う生涯学習社会づくり</p>	
<p>「学び舎えひめ悠々大学奨励賞受賞者数」を指標としているが、学んだことを地域に活かす指標としては再考の余地があるのではないか。 【桐木委員】</p>	<p>原案のとおり 同制度は、情報提供された講座の受講と学習成果を活かした活動を奨励することを目的に創設しており、受賞者数に替えて、学んだことを活かす指標として採用できるものは他に考えがたいため。 【教育委員会】</p>
<p>スポーツ立県えひめの推進</p>	
<p>「いつでも、どこでも、いつまでも」や「スポーツをする、みる、支える」といったキーワードを盛り込んでみてはどうか。 【日野委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 目指す方向を「そして、多くの県民が「する、みる、支える」それぞれの立場でスポーツを楽しみ、達成感や充足感を得ることができる明るく活力に満ちた「スポーツ立県えひめ」の実現を目指します。」に修正。 なお、「いつでも、どこでも、いつまでも」については、「県民誰もが、いつでも、身近な場所で気軽にスポーツに親しむことができ、・・・」として記載済み。 【企画振興部】</p>
<p>施策 45 競技スポーツの振興</p>	
<p>国体の開催とその後の目標も掲げてはどうか。 【桐木委員】</p>	<p>原案のとおり 目標には、国体開催後も含まれており、継続して取り組んでいくこととしているため。 【教育委員会】</p>
<p>県が特定の選手のレベルアップを目標にするのはどうか。 【日野委員】</p>	<p>原案のとおり 「愛媛にゆかりのあるスポーツ選手」は、競技スポーツに関わる県民を広く指すものであるため。【教育委員会】</p>
<p>もっと広い世代で活躍している選手の成果も指標に加えた方が、より県民にとっての成果指標になる。 【日野委員】</p>	<p>原案のとおり 目標(指標)の設定については、県民がその価値観を身近に共有できることや、比較の対象が明確であることが重要であるため。 【教育委員会】</p>
<p>指標に「全国規模の大会開催数」や「大会参加者数」などを加えると良いのでは。 【日野委員】</p>	<p>原案のとおり 施策目標である競技力の向上の程度を図る指標としては不十分であるため。(国体順位及びインターハイ順位により把握できるため。) 【企画振興部】</p>

4 やさしい愛顔あふれる「えひめ」づくり ~調和と循環により、かけがえのない環境を“守る”~	
環境と調和した暮らしづくり	
3Rや県版BCP等の用語には、説明が要るのではないかと。【桐木委員】	意見を踏まえ修正 政策「環境と調和した暮らしづくり」で3Rについて詳細に記載(3R(リデュース(発生抑制) リユース(再利用) リサイクル(再生利用)) また、施策34「防災・危機管理体制の充実」の主な取り組み6で「...大規模災害が発生し、人的・物的資源に制約を受けた場合においても、業務を継続できるように県業務継続計画(県版BCP)に基づく体制の強化...」と記載。 【県民環境部】 なお、専門用語等については、別途用語説明を記載予定。【企画振興部】
施策46 環境教育・学習の充実と環境保全活動の促進	
「環境教育(学習)」とした方が良いのではないかと。(「教育」では限定されてしまいますが「学習」であれば県民の自発的な「学び」の支援として全世代が対象とイメージできる。)【小池委員】	意見を踏まえ修正 施策名を「環境教育・学習の充実と環境保全活動の促進」に修正。【県民環境部】
施策47 地球温暖化対策の推進	
「低炭素ビジネスの振興」と関連付けるのであれば、「低炭素社会の推進」もしくは「低炭素社会の構築」としても良いのではないかと。【小池委員】	原案のとおり 低炭素社会の推進を図る施策としては、省エネ等の取り組みの他に、再生可能エネルギーや低炭素ビジネス等も含まれるが、省エネ等の取り組みの促進を県民にわかりやすく示すため、施策名を「地球温暖化対策の推進」とし、政策「環境と調和した暮らしづくり」に位置付けたもの。 【県民環境部】
自然と共生する社会の実現	
施策51 魅力ある里地・里山・里海づくり	
目標の妥当性について、もっと検討すべき。 【東淵委員】	意見を踏まえ修正 「豊かな自然あふれる里地・里山・里海を守り育てたい」に修正。【農林水産部】

【計画全体に係るご意見】	
目標があって現状と課題、そして今後の数値化した指標という形の方が良いのではないかと。社会の大きな流れなど、マクロとミクロの両方を検討する必要がある。また、県民の意向というようなものも現状と課題に盛り込んだうえで、指標を設定した方が納得できると思うので、現状と課題は深掘りしていただきたい。【池田委員】	意見を踏まえ修正 現状と課題について見直し、一部修正。 【企画振興部】
全般的に、県がやりたい施策が並んでいる。県民や企業目線で本当に望まれているかどうか意見集約が必要。 【池田委員】	意見を踏まえ修正 県民ニーズを踏まえ施策全体を見直し、一部修正。 【企画振興部】
「活かす」と「生かす」は統一してもよいのではないかと。 【桐木委員】	意見を踏まえ修正 「活かす」に統一。【企画振興部】

<p>54 施策のうち教育に関する部分（38～41）の指標については担当課との打合せが必要と思う。指標で成果がすべて測れるわけではないが、目に見える形で表れるので理解してもらいやすい部分もある。それゆえ、指標に振り回されて本筋をはすれてしまう可能性もあり、指標については十分な協議が必要と思う。【堺委員】</p>	<p>意見を踏まえ修正 指標の設定にあたっては、アウトカム指標を優先しつつ、目標との乖離が少ないことや、わかりやすさを考慮しながら選定。【企画振興部】</p>
<p>次の項目を指標としてはどうか。 農地面積や耕作放棄地面積、愛媛県職員の中で1年以上の外国滞在経験者数（できれば採用前に）、高校生の県外進学、Uターン率、高校生の県外就職率、県外からの若者の移住数、60歳以上、65歳以上、70歳以上の就職率の推移、公的機関での学び直し者数、再生エネルギー（水力も含む）量、全輸出量に対する農林水産物（加工も含む）の輸出量、県外との共同施策量 【林委員長】</p>	<p>：各施策の目的や効果を反映できるような他の指標を設定する。【農林水産部】 ：数値の把握が困難であるため、採用できない。【企画振興部】 ：各施策の目的や効果を反映できるような他の指標を設定する。【教育委員会】 ：「県内高校・大学新規卒業者の就職決定率」に含まれるため採用できない。【経済労働部】 ：移住に関連した施策はあるが、若者の移住に限定したのではなく、若者の移住者数を指標とするのが適切となる施策がないため採用できない。【企画振興部】 ：国勢調査により把握することとなり、推移を見るのには適していないため採用できない。【経済労働部】 ：意見を参考に、施策42において、学び舎えひめ悠々大学の対象講座登録数を間接的な指標として採用。【教育委員会】 ：電気として使われるもの、熱として使われるもの、そのものを燃やして使うもの等があり、総量として捉えるには分かりにくいいため採用できない。【経済労働部】 ：数値の把握が困難であるため、採用できない。【農林水産部】 ：施策14において、4県連携施策、四国連携事業数を採用。【企画振興部】</p>
<p>南予に記載されている「もうかる漁業」という表現は、とてもわかりやすくインパクトのある表現なので、農業や林業等にも同様の表現を使用しても良いのではないかと。 【桐木委員】</p>	<p>計画全般に盛り込み済 「力強い農林水産業」や「儲かる一次産品の優良産地」、「攻めの農林水産業」など、わかりやすくインパクトのある表現に努めている。【企画振興部】</p>

<p>【目標に係るご意見】</p>	
<p>目標は、中長期的に取り扱うものと短期的に取り扱うものとを明確に区分して、「これはいつまでに」というようなことが分かる形がよいのではないかと。 【藍場委員】</p>	<p>4年後の目指すべき姿を見据え、目標を設定しているが、そのタイムスケジュールについては、経済情勢や財政状況などの変化を踏まえて柔軟に対応。なお、年度ごとの重点戦略方針で力点を置く分野は示すこととしている。 【企画振興部】</p>
<p>施策に対する目標や指標の妥当性に疑問。【池田委員】</p>	<p>施策全体の取組みを反映できるように、目標や指標を見直している。【企画振興部】</p>
<p>目標と指標の乖離が気になる。目標に対して「それを達成するために何をやるか」というところが見えないと成果指標も作れない。【東淵委員】</p>	<p>施策全体の取組みを反映できるように、目標や指標を見直している。【企画振興部】</p>

<p>目標の妥当性について、もっと検討すべきではないか。 (目標が定まらなると、指標の議論が深められないのでは) 【東淵委員】</p>	<p>施策全体の取組みを反映できるように、目標や指標を見直している。 【企画振興部】</p>
<p>施策や取組みに関しては各部局で十分に検討されていると思うので賛成だが、それらをまとめて短い文章で「目標」として表現すると、どうしても漏れる部分が残し、「目標」が「施策」よりも重要視されるようになりかねない。</p> <p>重要なのは、「施策」と具体的な「取組み」と、それらの実施によって愛顔が増えることにあるので、用いる「指標」は、「目標」に対してではなく、あくまでも「施策」や「取組み」、そしてその結果に対して設けるべきではないか。</p> <p>「目標」は施策を分かりやすく表現したものにすぎないと理解し、「指標」は、「施策」や「取組み」の実施状況(プロセスあるいはインプット指標)及びそれらによる「愛顔」の増え具合を示すもの(アウトカム指標)を用いるようにすべき。 【東淵委員】</p>	<p>施策全体の取組みを反映できるように、目標や指標を見直している。 【企画振興部】</p>
<p>少し具体的な目標もあるが、大きく捉えた形が良いと思う。また、指標は、県民の皆さんが関わられるようなものが良いと思う。 【日野委員】</p>	<p>わかりやすさも考慮して指標を選定。 【企画振興部】</p>

<p>【指標に係るご意見】</p>	
<p>提供者側(サプライサイド)だけでなく、利用者側(ユーザーサイド)の目線も取り入れるべき。 【藍場委員】</p>	<p>指標の設定にあたっては、アウトカム指標を優先しつつ、目標との乖離が少ないことや、わかりやすさを考慮しながら選定。 【企画振興部】</p>
<p>上手くいっているかいないかを判断するときには、経済的にお金が儲かっていることを成功とする部分と社会貢献など経済的、産業的には判断できない部分が共存している場合が多いが、同じ施策の中でもきちんと分けて、判断すべきではないか。 【井部委員】</p>	<p>指標の設定にあたっては、アウトカム指標を優先しつつ、目標との乖離が少ないことや、わかりやすさを考慮しながら選定。 【企画振興部】</p>
<p>質や豊かさ、満足度、面白さというものの評価基準を見つける作業は、非常に難しい。トライアンドエラーの積み重ねだと思うが、目に見えないものをいかに評価するか、検討してほしい。 【井部委員】</p>	<p>指標の設定にあたっては、アウトカム指標を優先しつつ、目標との乖離が少ないことや、わかりやすさを考慮しながら選定。 【企画振興部】</p>
<p>指標は、数値よりも質。満足度というものも指標として大切な部分だと思う。 【小池委員】</p>	<p>指標の設定にあたっては、アウトカム指標を優先しつつ、目標との乖離が少ないことや、わかりやすさを考慮しながら選定。 【企画振興部】</p>
<p>一年間で成果が出るものと出ないものがあるので、結果指標だけではなく、プロセスの部分についても指標を設けて、プロセスと結果をあわせた総合的な成果を図るべきではないか。 【東淵委員】</p>	<p>指標の設定にあたっては、アウトカム指標を優先しつつ、目標との乖離が少ないことや、わかりやすさを考慮しながら選定。 【企画振興部】</p>

<p>成果指標が、どう好循環していくかということが重要。例えば、健康な体を作っていけば、医療費の削減や子どもの体力向上、スポーツを通しての地域活性化などに繋がるなど、いろんな指標に繋がるのではないかと思う。ひとつひとつの柱で指標を決めるよりは、いろんなところに繋がっていく指標が良いのではないか。 【日野委員】</p>	<p>指標の設定にあたっては、アウトカム指標を優先しつつ、目標との乖離が少ないことや、わかりやすさを考慮しながら選定。 【企画振興部】</p>
<p>マイナスを恐れて無難な指標を出す必要はない。目標が多面的、客観的に判断できるものを選んでいただきたい。 【松井委員】</p>	<p>指標の設定にあたっては、アウトカム指標を優先しつつ、目標との乖離が少ないことや、わかりやすさを考慮しながら選定。 【企画振興部】</p>

<p>【その他のご意見】</p>	
<p>計画策定にあたり、計画がこうであれば構想はこうあるべきだという議論の中で、構想にフィードバックしながら、年末に向かって修正されることを期待している。 【藍場委員】</p>	<p>今後の議論を踏まえ検討。 【企画振興部】</p>
<p>交通ネットワークの整備が、「1 次代を担う活力ある産業を創る」と「2 快適で安全・安心の暮らしを紡ぐ」にまたがるように、取組みがいろんな分野にまたがることは良いこと。 計画を作ると、一定の分野の中だけでこだわってしまう可能性があるのも、常にほかの項目とかぶっている、さらにブレイクダウンして施策を作っていくときには、どの分野でもちゃんと対応できるということが重要。 【藍場委員】</p>	<p>54 施策の関連性を意識しながら全体を見直し。 【企画振興部】</p>
<p>長期的に続けなければならないものは続け、年度内でもやり方が間違っていたら、すぐに変更できるよう、常に模索しながら、スピード感を持って、柔軟に対応できる仕組みが必要。 【井部委員】</p>	<p>特に重点的に取り組む施策分野等を示す重点戦略方針を、毎年度策定し、柔軟に対応。 【企画振興部】</p>
<p>予算編成において、各部局の主体性が発揮できる仕組みづくりが重要。 【大隈委員】</p>	<p>特に重点的に取り組む施策分野等を示す重点戦略方針を、各部局の方針を踏まえながら策定。 【企画振興部】</p>
<p>環境学習など実施している私たち自身が、この指標や長期計画をちゃんと把握し、理解し、伝えられる人になる必要があると思うので、県民が長期計画を学ぶ機会を作る必要がある。 【小池委員】</p>	<p>長期計画の周知方法について、今後検討。 【企画振興部】</p>
<p>「体系図」を「航海」に例えられていますが、それに即すると、県民は「乗客」です。乗客には「目的地」を共有する必要があります。目的地が同じで、船に信頼を寄せていけば、困難な航路(浅瀬や岩場)を避けるための迂回や、嵐を避けるための航路変更も見守ることができるが、「目的地」を共有できていなければ、ちょっとした航路の変更にも、乗客からはクレームがでる。 この航海(長期計画の実行)の成功は、最初の「目的地」の共有にあると思います。その意味でも、県民への広報・周知の徹底は、まだまだ見直す余地があると考えます。県職員全員が広報担当であるという自覚を持つとともに、関わる私たちも媒体として告知していく必要がある。 【小池委員】</p>	<p>長期計画の周知方法について、今後検討。 【企画振興部】</p>

<p>4つの基本政策、20の政策、54の施策というふうに分けるのは良い。分類した54の施策の全体的な関係性、相互の目標が関連し、県全体を良くするという視点を明示すべきではないか。【白塚委員】</p>	<p>54の施策は、基本理念「愛のくに 愛顔あふれる愛媛県」の実現につながるものであることを政策体系で整理。 【企画振興部】</p>
<p>毎年度の予算に反映していく中で、2つの施策の優劣をつける場合のルールみたいなものが、基本計画の一番初めに、方向性としてあっても良いのではないか。 【園部委員】</p>	<p>特に重点的に取り組む施策分野等を示す重点戦略方針を、各部局の方針を踏まえながら策定。【企画振興部】</p>
<p>54 施策（及び目標）について、それらの相互関連の状況をマインドマップのような形で、1枚の紙に表現してみてもどうか。【東瀨委員】</p>	<p>54 施策の関連性を意識しながら全体を見直し。 【企画振興部】</p>
<p>庁内の連携を密にとり、他の部局などが同様の取組みをしている事業や、分野別計画の目標・成果指標などと整合性を図るなど、立案と実行が共通理解のもとに進められるようにすべき。 また、基本構想の「はじめに」の文章のなかに「愛顔」の言葉がなかったのが気になった。 知事＝愛顔のようなイメージがあるため、知事の公約や基本理念である「愛顔」が知事言葉に入っても良いのでは。 【日野委員】</p>	<p>長期計画の庁内での共通理解をさらに推進する。 また、基本構想では、「はじめに」と「基本理念」をあわせて、知事の想いを込めたものとしている。 【企画振興部】</p>
<p>指標により評価する組織は、第三者機関が含まれる組織が望ましい。【松井委員】</p>	<p>外部有識者等で構成する長期計画推進協議会を設置し、透明性の高い計画推進に努める。【企画振興部】</p>
<p>これまで実施された事業や取組みは、ポイントにある選択と集中により整理され、主な取組みとして記載されているのだと思うが、その辺りが分かり難い。 また、4年後に、その後の4年なり6年なりの具体的なアクションプログラムを検討するにあたって、今回の計画に基づき実施された取組みがどうだったのかが反映でき、その後にまた選択と集中が徹底できるような仕組みが必要。【水野委員】</p>	<p>外部有識者等で構成する長期計画推進協議会を設置し、透明性の高い計画推進に努める。【企画振興部】</p>
<p>県庁職員だけでなく、県民全体が一緒になってやっというふうな計画ができれば。【安河内委員】</p>	<p>県民と目標を共有し、愛媛の未来づくりに共に挑戦できるような計画を目指す。【企画振興部】</p>